

## 須崎市ゲートキーパー養成講座

### = みんなで進める自殺予防 =

(実施期間) 平成 24 年度～26 年度

(基金事業メニュー) 人材養成事業

(実施経費) 平成 26 年度 585 千円

(実施主体) 高知県須崎市

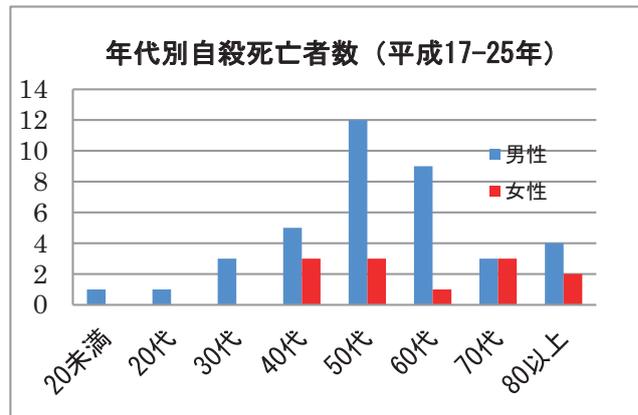
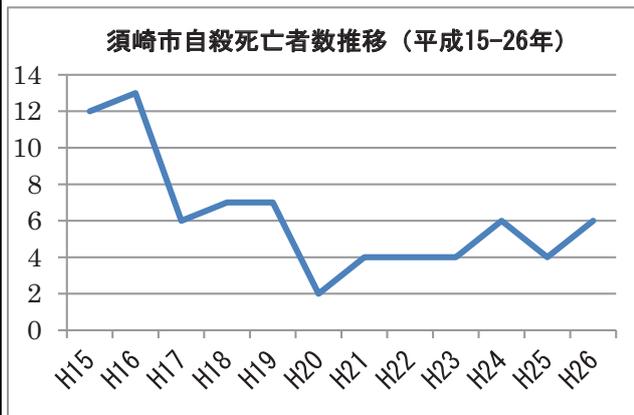
( 585 千円 )

#### 【事業の背景・必要性】

平成 23 年から健康推進課が呼びかけて、市内にある精神科病院、県福祉保健所、包括支援センターが年に 1 回集まり、自殺やうつ、認知症に関係する現状や対策を話し合う自殺対策検討会を行ってきた。自殺の背景には、借金、精神疾患、病气、家族の介護など様々な要因があり、住民や地区組織、様々な専門機関に働きかけながら行う「みんなで進める自殺予防」の必要性を確認しながら、事業を展開してきた。「死にたいと相談された時の対応が分からない」、「話の聴き方が知りたい」という声は身近な相談機関からも多く、ゲートキーパー養成を継続する必要性を感じている。

#### 【地域の特徴・自殺者数の動向】

須崎市では、平成 24 年の人口 10 万人あたりの自殺死亡率は 25.8 であり、県の数値とほぼ同じであった。自殺が多く見られる年代は、男性は 40 歳～60 歳代、女性は 50 歳～70 歳代である。近年は女性の自殺者数が増えていることが市の課題となっている。



#### 【事業目標 事業内容】

目標：身近な相談機関がゲートキーパーとしての役割である「気づき・声をかけ・見守る」ことができる体制をつくる。

内容：平成 24 年度から、下記の内容で人材養成事業を実施した。

対象	実施年度	内容・テーマ	参加人数
須崎警察署職員	平成 24 年度	自殺の現状やうつ病の基礎知識と対応、相談先について研修した。	40 人
須崎消防署職員		精神保健福祉医学講座として、うつ病や認知症についての基礎知識もふまえ、講座を実施した。	35 人 (3回実施)
市職員		3回コースで、メンタルヘルス総論から自殺を考えるほど悩んでいる人を支える対応について研修した。	79 人

3 早期対応の中心的役割を果たす人材を養成する⑥

小中学校養護教諭	平成 25 年度	思春期の子供のこころについて、グループワークを中心に研修した。	15 人
介護支援専門員		普段の業務の中から気づき、つないで、支えるための高齢者のうつ病を中心とした内容で研修した。	50 人
市職員		新型うつとその対応を切り口に、悩んでいる人を支える対応を研修した。	48 人
小学校教諭		子供のこころの悩みのサインに気づくためのポイントと相談先について研修した。	28 人
司法書士	平成 26 年度	悩みを聴くときの質問の仕方等の相談を研修した。	8 人
健康づくり推進協議会		身近な人の相談にのる技術を学ぶため「相談対応とストレス対処」というテーマで研修した。	24 人
生活支援総合相談センター相談員		精神疾患への理解と対応技術の向上を目的に「統合失調症とうつの理解」というテーマで研修した。	9 人

また、包括支援センターが中心となって、高齢者のこころの声を聴くことを目的に傾聴ボランティアの養成を行い、現在は傾聴ボランティアが市内の精神科病院やグループホームで月に 1 回活動を継続している。各機関が連携し、年代に応じた切れ目のない自殺予防を目指している。

**【事業実施にあたっての運営体制】**

各機関と内容や講師について検討を行い、協力して開催した。研修の周知や声かけについても全面的に連携して運営した。

**【事業の工夫点】**

研修にグループワークや意見交換、講師への質問の時間を多く取り、実践的なものになるよう工夫した。各機関が業務に活かせ、すぐに実践できるような内容にすることで関心を持ってもらえるようこころがけた。

**【事業成果及び評価、今後の課題、その他特筆すべき点】**

■ 事業成果・評価

様々な機関を対象にゲートキーパーの養成をしたことで、それぞれの立場でできる自殺予防を考えてもらうことができた。研修前は、「死にたいという相談は受けたことがないから…」と言われていた対象者も、研修を受けることで普段の生活の中で悩みを聴くことが自殺予防につながるという気づきがあった。そのような人材を増やしていくことが重要であると考えた。

■ 今後の課題と取組

こころの問題を相談せずに抱え込んでしまう人がいることが課題となっている。下記の取組を継続して行っていきたい。

- みんなで進める体制づくり：関係機関や住民団体、事業所等と一緒にこころの健康を考え、活動する。
- 継続した啓発事業の実施：こころの健康に関心を持つ人や「気づき、つなぎ、見守る」ことができる人を増やす。
- 自殺予防につながるネットワークづくり：既事例等を検討し、悩みを相談できる地域づくりを関係機関と連携して行う。

(問合せ先)

高知県須崎市健康推進課

TEL：0889-42-1280

E-mail：kenkou1@city.susaki.lg.jp

URL：http://www.city.susaki.lg.jp/